

わいわい 通信



整備を進めていました新ホームが完成しました。年が明けてからの着工という文字通りの突貫工事でしたが、職人さんたちの使命感と尽力により、3月30日の建築確認完了検査に間に合いました。

定員10名のうち8名の入居が決まっております、引っ越しが始まっています。お住まいの一人ひとりの願う形の生活ができるよう、支援に努めてまいりたいと思います。

お品書き

- グループホーム
- あったかほーむ
- くらしカフェ
- 余暇利用
- 環境保全

あんしん なっとく じゅうじつ の生活



NPOの活動報告

- 10月18日 宿場まつり（かごかきレース）参加
- 10月22日・29日 合同新任者研修（ほっと館 2階会議室）
- 11月14日 新ホーム 建築工事入札実施
- 11月29日 新ホーム 用地売買契約締結（(株)ベターホームさん）
- 12月1日 新ホーム 建築工事請負計画締結（(株)大新建設さん）
- 12月21日 第3回合同連絡会議（ほっと館 2階会議室）
- 12月21日 第4回理事会（新ホーム関係、世話人体制等）
- 12月26日 新ホーム 県補助金交付決定
- 12月28日 新ホーム 地鎮祭
- 1月8日 新ホーム 建築確認 計画の確認済証交付
- 2月14日 新年会（あたか飯店）
- 3月1日 役員会議（人事異動内示ほか）
- 3月16日 第6回理事会（事業計画、予算、新ホーム等）
- 3月31日 新ホーム 建築確認 工事の検査済証交付

月1回 ホーム持主会議、あったか企画会議、わいわい運営会議

わいわい日中ボランティア。
募集中 時間：おまかせ。
 月1回でもかまいません。
 お話相手、散歩・買い物
 などなど。



お問い合わせ NPO法人事務局 TEL 0748-60-2903 FAX 0748-60-2907

発行：特定非営利活動法人NPOワイワイあぼしクラブ

“ならでは”の働き

グループホーム南花（さざんか）で暮らしながら、介護事業所秋桜舎（こすもすや）で働くけい子さん（ダウン症の障がいを抱えている）が復帰した。

右ひざの関節炎の悪化から入院し、点滴治療などを受けながら退院して来た。しかし、退院後もなかなかすっきりせず、熱が続いて食欲もなく、おまけに寝たきりのため床ずれ（褥瘡）まで出来てしまった。

その後、担当理事やスタッフの適切な介護と粘り強いリハビリの結果、一人介助で立ち上がれるようになった。さらに時間を重ねて、調子の良い日は介助付で数歩歩けるようになった。

そうなるに食欲も出て来て、機嫌も良くなり、これまでのように冗談が出たり、スタッフをかまったりするようになった。3月に入り、南花と秋桜舎のスタッフと相談して、一度「励ます会」をやろうということになった。

当日、秋桜舎の送迎車の回転シートに乗ってやって来たけい子さんに対して、おとしよりやスタッフから声がかかった。「はい、けいちゃんいらっしやいっ!」、「大丈夫かあ」、「顔色エエわ」と、いつも以上の声がかかり、場の雰囲気も一段と賑やかになった。

けいさんが椅子に座ると、隣に座っていたフミ枝さんが早速手を伸ばして服の乱れを直してくれた。食事が終わり、帰る時間になっても、おとしよりと一緒に歌に興じて、なかなか腰が上がりなかった。

彼女の秋桜舎での存在そのものが、生活そのものが、おとしよりや場に対して大きな効果を及ぼしていることが、久しぶりの登場ただだけに、より鮮明になった。

2015. 4. 20 (み)



インフォメーション

<My ほ一む開所>トイレ・浴室・洗面脱衣室完備のフルスペック個室5部屋、個室と共用設備の共同生活タイプ5部屋を備えた新ホーム(名称は、「Myほ一む」を継承)が4月に開所しました。さんさんハウスから3名が転居し、またMyほ一むから5名が転居、1名がサテライト利用として残ることになりました。工事入札や補助などでお世話になった地元湖南市や、設計、施工で尽力いただいた関係の皆様をお招きして、開所式を催したいと考えています。

My ほ一むの新築移転と今後の運営について

担当理事 谷村 太

みなさんもお存知のとおり My ホームは、ワンルーム型のアパートを借り上げて運営してきましたが、近年の消防法の規制強化（スプリンクラーの設置等）によりその対応を迫られることになりました。また、年々増加する利用者に対応するべく賃貸する居室を増やしてきましたが、需要に追いつかない状況に陥り、ホームの増設により定員を増やして対応する必要が出てきました。

そこで、石部南区内の分譲地を取得して My ほ一むを新築移転（定員 10 名）することとしました。業者のご協力により3月末には、建物は完成して4月中旬から引っ越し作業に入っています。地域から隔離されたエリアで特異な生活を送るのではなく、地域に溶け込んで普通の暮らしをしていきます。

日常的には、支援者とは上下関係でなく、双方向の関係性で、「いざとなったら専門性」という支援のスタンスで運営していきたいと思っています。

スペシャルオリンピックスへのお誘い

スペシャルオリンピックスとは、知的障がいのある人たちに日常的にスポーツをする機会を提供するとともに、日ごろの練習の成果を発揮する場としての競技会を開催する団体です。国内大会や世界大会は、四年に一度開催され、オリンピックやパラリンピックと同様に大きな盛り上がりを見せています。そして今年、その世界大会がアメリカのロサンゼルスで開催され、日本からも85名の選手と多数のコーチや役員が参加します。

世界中で正式種目として取り組まれている競技は、水泳や陸上、体操、ゴルフ、あるいは各種の球技などの夏季種目とスキー、スケート、フロアーホッケーなどの冬季種目があります。

滋賀県では、約6年前に湖南と湖東でバスケットボールと卓球の練習がはじまり、今では湖北や高島にも支部が誕生し、種目もバドミントンやサッカー、フロアーホッケーと5種目に増えてきました。

NPOワイワイあぼしクラブのホームの皆さんは、滋賀でのスタート直後から、卓球とバドミントンの練習に参加し、昨年は、福岡での国内大会にそろって応援に出かけました。

練習は、月一回から週一回までさまざま、近くでは卓球が野洲の祇王小学校と甲賀市伴谷の水口コミュニティセンター、バドミントンが祇王小学校と湖南市総合体育館で開催されています。

スペシャルオリンピックスでは、常時メンバーを募集しています。あなたもアスリートとしてあるいはコーチとして参加してみませんか。お気軽に声をかけてください。

(スペシャルオリンピックス日本・滋賀 事務局担当 檜山)

グループホームわいわい～ほっこり・にっこり～

姉 高木博子がお世話になって

桜満開に少し早い 3月30日、姉は両親の元に帰りました。当夜、わいわいさんで撮って頂いた多くの写真を見ている時に宮田さんからお電話を頂き、何か「以心伝心」とはこのことかとびっくりでした。

足掛け十年にわたり良い時も悪い時もお世話をして頂いたこと、色々と情景が浮かびます。

買い物。一年間の諸行事。一人住まいでは出来ぬ事を色々させて頂きました。

通夜、葬儀と足を運んで下さりありがたいことでした。

多くの介護士さんの出入りがありました。が、「フレンドリー」で、「おんぶにだっこ」を決めこ

ました。お許し下さい。万回の「ありがとう」を心より申し上げます。理事長様や

の方々にお礼も申しませず、お許し下さいませ。私からも多くの人々がお世話になられるとの思いが、胸の

すまわります。十年の間本当にありがとうございました。

平成27年4月3日 今井 乙子

発行：特定非営利活動法人NPOワイワイあぼしクラブ



[NPOワイワイあぼしクラブ 関連事業所の住所・連絡先]

●あったかほーむ いしべ宿(しゅく)

〒520-3107 湖南市石部東七丁目5番9号

TEL/FAX 0748-77-6723

E-mail: npowai@ex.bw.dream.jp



●高齢者グループホーム わいわい

〒520-3107 湖南市石部東七丁目5番25号

TEL/FAX 0748-77-5741

E-mail: gh-waiwai-shiga@gaia.eonet.ne.jp



●知的障がい者グループホーム すずらんホーム

〒520-3108 湖南市石部南七丁目9番20号

TEL/FAX 0748-77-4274

E-mail: qpmx33521@nike.eonet.ne.jp



●知的障がい者グループホーム ホワイトハウス

〒520-3108 湖南市石部南六丁目9番29号

TEL/FAX 0748-77-3130

E-mail: pskm67097@ares.eonet.ne.jp



●知的障がい者グループホーム 南花(さざんか)

〒520-3108 湖南市石部南五丁目4番4号

TEL/FAX 0748-77-4791

E-mail: wac-sazanka@dream.jp



●知的障がい者グループホーム Myほーむ

〒520-3108 湖南市石部五丁目50番41号

TEL/FAX 0748-60-1157

E-mail: vpkv25205@ares.eonet.ne.jp



●くらしカフェ(ほっと館)

〒520-3107 湖南市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2906/FAX 2907

E-mail: wac-info@dream.jp



●サポートセンター・本部事務局(ほっと館)

〒520-3107 湖南市石部東二丁目1番36号

TEL 0748-60-2903/FAX 2907

E-mail: (SP) wac-sprtc@dream.jp (本部) honbu-saport@dream.jp



<栗東ハイツ>2008年6月に栗東市林で開設した栗東ハイツが7月末に約5年の歴史の幕を閉じました。主に近江学園の卒園生の就労を支えるホームとして、地元の栗東市シルバー人材センターの皆様の温かな支援のもとに運営してきましたが、入居者の減少、就労先の変更などにより、一定の役割を終えました。長らくのご支援ありがとうございました。

<編集後記>

新しい年度、新生活を始めた子ども達のいきいきとした姿に元気をもらいます。私自身はここ数年特別何も変化がないので気づけばあっという間に一年が過ぎてしまいます。何でも精力的に頑張らないと！
(みつい)

<お願い>

会員の皆さまへ。ひき続き、新規加入者(正会員・賛助会員)のご紹介および、今年度の会費の納入をよろしくお願いいたします。